

[ニュースリリース]

2024年4月

## 令和6年能登半島地震による被災生徒への支援について

「令和6年能登半島地震」で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

一般社団法人パチンコ・パチスロ奨学金は、2017年に業界有志で設立した「返済を求めない給付型の奨学金制度」として、遊技業界の皆様からの温かいご支援の下、2023年度までに延べ225名の学生に総額1億406万円の給付を行い、この4月からは、新たに2024年度給付生30名に対する奨学金の給付を開始しております。

こうした通常の奨学金の給付事業とは別に、本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震で被災した生徒への緊急支援活動を行いました。その概要について、別紙のリリースとしてまとめましたので、ご報告申し上げます。

## 能登半島地震の被災生徒支援について

一般社団法人パチンコ・パチスロ奨学金(pp奨学金・吹浦忠正代表理事、阿部恭久会長理事)は、社会問題として顕在化していた貸与型奨学金制度の返済に苦しむ若者たちの増加を少しでも食い止めるべく、遊技業界がかねてより交流を続けていた社会福祉法人さぼうと21の協力を得て、2017年に業界有志で設立した「返済を求めない給付型の奨学金制度」です。2017年度から2023年度までに延べ225名の学生に総額1億406万円の給付を行い、この4月からは、新たに2024年度給付生30名に対する奨学金の給付を開始しました。

こうした通常の奨学金の給付事業とは別に、本年1月1日に発生した能登半島地震では、当奨学金の吹浦代表から、震災によって学業の継続が困難な状況に置かれている学生・生徒に対し、なんらかの支援ができないかとの提案があり、検討を進めてきました。その結果、震災によって経済的に困窮する高校3年生の進学に少しでもお役に立てるよう、進学に伴う新生活支援金というかたちでの拠出を決め、パチンコ・パチスロ社会貢献団体機構の特命助成に当奨学金からの拠出を加えた総額500万円を原資に、最大100名に一律5万円を給付することとしました。

石川県教育委員会のご協力により、2月29日から3月25日まで実施した募集に対しては、石川県内9の高校から全47名の応募があり、一部に申請書類が整っていない応募者もいましたが、事務局で追加の書類提出を求めたところ、各々より書類の提出があったことから、3月30日に開催した当奨学金の理事会(写真)において、47名全員に支援金を給付することを決めました。なお、支援金の振り込みは4月中旬までに完了し、社会貢献団体機構からお預かりした助成金の残金は同機構に返却することとしております。

当奨学金では、被災地の1日も早い復興を心よりお祈りするとともに、今後も被災地の学生・生徒に対する支援策を継続して検討していく予定であります。

